

修士課程の概要

コース案内/各種インフォメーション

コース案内

社会の多様なニーズに対応した目的別のコース制による融合教育を行っています。

医科学コース

医学・生命科学領域の幅広い知識を持って活躍できる高度専門職業人の育成を目的とするコース

全コース必修共通コア科目に加えて、医学研究に必要な知識や技術を演習形式で学ぶ基本医学研究法と、口頭発表および論文作成の技術を修得する研究発表技法を履修します。さらに基本医学総論および基本医学研究により、高度専門職業人として必要な幅広い医学知識を修得します。

公衆衛生学コース

2年コース 社会全体ならびに人々の健康と生活、安全の維持・向上のために、公衆衛生上の諸課題に対し、幅広い知識と高い技能を持って活躍する人材の育成を目的とするコース

米国の公衆衛生教育協会の認定基準に準拠した「疫学」「生物統計学」「社会行動科学」「保健医療管理学」「環境保健学」の5領域の基礎科目を必修科目とし、さらに各自の関心にあった選択科目を組み合わせることで、公衆衛生学の専門家として求められる能力を修得します。

1年コース 一定の実務経験を有する医師・歯科医師・薬剤師などを対象として、医療・公衆衛生領域で活躍できる高度専門職業人を1年で育成することを目的とするコース

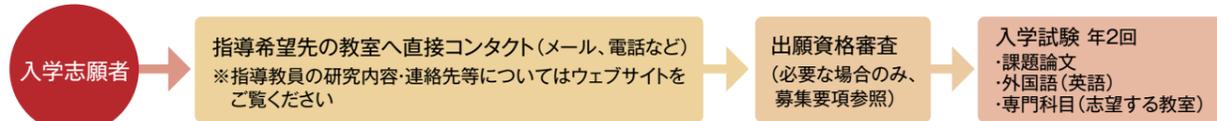
2年コースと同様の学修を1年で行います。修士論文または特定の課題についての研究の成果に関する審査および試験に合格することにより修了することが可能です。

修士課程に入るには

■入試について

- **募集人員** 医科学専攻20名
- **出願資格** 学士の学位を有する方等(公衆衛生学コース(1年コース)のみ医師・歯科医師等の実務経験が2年以上の方)
- **出願期間** 令和3年10月入学: 令和3年7月6日(火)から令和3年7月12日(月)まで
令和4年4月入学: 令和3年12月1日(水)から令和3年12月7日(火)まで
受付時間: 午前9時から午後5時まで。郵送(書留速達)とし、出願期間内必着のこと

●入試・選考の概要



- **試験日** 令和3年10月入学: 令和3年8月17日(火) / 令和4年4月入学: 令和4年1月18日(火)
※今後の新型コロナウイルス感染状況により、記載と異なる内容で試験を実施、もしくは試験を延期または中止する可能性があります。その場合は、本学院ウェブサイト(https://www.med.hokudai.ac.jp/)にてお知らせいたします

■諸費用

- **入学検定料***: 30,000円
 - **入学金***: 282,000円
 - **授業料**: 535,800円(年額) (入学金、授業料は予定額です)
- *国費外国人留学生(文部科学省奨学金受給者)は不要です。願書提出の際、必ずその旨を申し出てください

◎詳細は大学院学生募集要項で確認してください

■長期履修制度(修士課程を3年または4年で修了する制度。公衆衛生学コース(1年コース)へ入学した方は、申請できません)

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限(2年)を超える期間にわたり計画的に教育課程を履修したい旨を入学前に申請し、許可された場合、約2年間の授業料で最大4年間まで在学できる制度を設けています。

- **修了要件** ①修士論文または特定の課題の研究成果(公衆衛生学コース(1年コース)のみ)に関する審査、試験に合格すること
②所定の単位30単位以上の修得

MESSAGE コース在籍者からのメッセージ

妊産婦の未来のために You can do it !

医科学コース/産婦人科学教室(令和2年度入学)

いぬばり 犬走 真弓

大学院入学後も産婦人科のクリニック(助産師)に勤務しています。妊娠経過が順調な妊婦様と中には急に切迫症状が出て早産になる方もいらっしゃいます。切迫早産の様々な研究は成されてきていますが、私もどうして、なぜと疑問に感じている場面もあったことから、今の研究室への進学を決めました。

研究は妊娠中の体内水分量と骨盤形態の変化に関する内容のデータを日々とっています。教授をはじめとしご指導くださっている諸先生方々にご指示をいただき、日々邁進しています。妊産婦の未来に少しでも研究が役立つことを目指しています。



統計科学から健康問題に挑戦する

公衆衛生学コース(2年コース)/医学統計学教室(令和2年度入学)

たすく 稲尾 翼

学部の卒業研究で認知症を扱った際、根本的に改善する治療薬が未だ開発されておらず、また介護うつなどの健康被害があることを知りました。健康問題について統計解析面で貢献したいと強く思い、医学院への進学を決めました。

入学前は数理学を専門としていたため、今まで知識がなかった公衆衛生学について講義や課題などを通して一から学んでおります。また、北大病院から多種多様なデータの解析をお願いされることもあり、解析作業を通して得る知恵も多いです。現在の研究テーマは、逐次検定の新しい臨床試験デザインの提案であり、希少疾患に対する柔軟な臨床試験が設計できることを目指しています。



MESSAGE コース修了者からのメッセージ

慣れるより習った1年間

公衆衛生学コース(1年コース)/衛生学教室(令和元年度修了) 医師

矢崎 弘志

北大工学部卒、サラリーマン、留学、医療系NGO駐在員を経て医師になりました。いつか公衆衛生を学びたいと思っていたところ、北大大学院で社会人向けに開講されると知りました。訪問診療専門クリニック勤務なので待機が多く、躊躇しましたが、思い切って挑戦しました。

約30年ぶりの学生生活は、前半の夜学と後半の研究指導で、怒涛のように過ぎ去りました。感染症の数理モデルが主力の衛生学教室にあって、研究テーマは「北海道の軽症患者の救急搬送」、一見何の関連もなさそうに見えますが、統計解析を用いて疫学研究を行いました。研究テーマは何であれ「事実」とらえる「術(すべ)」を学んだことが最大の収穫です。



■顕彰・奨学金制度等について

■顕彰制度

●医学院

優秀論文賞

優れた論文を発表した学生に優秀論文賞および副賞(10万円相当)を授与します。

高桑榮松奨学金

優れた業績をあげた若手研究者(大学院生を含む)に対する奨励賞(8~10万円(3~4名))を授与します。

■奨学金制度

●医学院

音羽博次奨学金

学業・人物ともに優秀な学生および外国人留学生に奨学金(15万円(各10名以内))を授与します。

●北海道大学

新渡戸カレッジ大学院教育コース

オーナープログラム履修生を対象に選考の上、奨学金を支給します。選考にあたっては、基礎プログラムの成績や応募書類の内容等から総合的に判断します。

●その他

日本学生支援機構の制度

最も一般的な奨学金を貸与する制度です。第一種奨学金(無利息)と第二種奨学金(利息付)があります。※詳細は同機構のウェブサイトをご覧ください

■ティーチング・アシスタント(TA)制度

TA制度は、広い意味の大学教育の一環として、よき大学教員・職業人となるための実地訓練(教育現場の体験)を目的として導入されました。令和2年度は13名の採用があり、1人あたり年間約9万円が給与として支給されました。